



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 萩原電気ホールディングス株式会社
 コード番号 7467 URL <https://www.hagiwara.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 27,000 | 9.0 | 783 | 13.2 | 796 | 11.3 | 539 | 13.7 |
| 30年3月期第1四半期 | 24,778 | 11.1 | 691 | 49.1 | 715 | 75.3 | 474 | 87.7 |

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 391百万円 (19.9%) 30年3月期第1四半期 485百万円 (492.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第1四半期 | 62.52 | 62.39 |
| 30年3月期第1四半期 | 58.37 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第1四半期 | 56,790 | 29,511 | 51.9 |
| 30年3月期 | 57,688 | 28,880 | 50.1 |

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 29,492百万円 30年3月期 28,876百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 40.00 | | 55.00 | 95.00 |
| 31年3月期 | | | | | |
| 31年3月期(予想) | | 50.00 | | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 56,400 | 7.7 | 1,670 | 1.1 | 1,630 | 3.0 | 1,090 | 4.6 | 125.02 |
| 通期 | 119,600 | 6.5 | 3,770 | 3.8 | 3,680 | 2.6 | 2,450 | 3.6 | 279.31 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期1Q | 8,945,200 株 | 30年3月期 | 8,701,400 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期1Q | 192,736 株 | 30年3月期 | 192,736 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期1Q | 8,625,817 株 | 30年3月期1Q | 8,125,333 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用環境の改善が継続するなど緩やかな回復基調となりました。一方、海外経済は、米国の保護主義的な経済政策や新興国における政情不安などで先行きの不透明感は払拭できない状況となっております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、国内生産は前年同期並みとなり、海外生産ではアジアを中心に堅調に推移いたしました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト抑制を推進し、収益の維持に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は270億円（前年同四半期比9.0%増）となり、営業利益は7億83百万円（前年同四半期比13.2%増）、経常利益は7億96百万円（前年同四半期比11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億39百万円（前年同四半期比13.7%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの名称を変更しており、従来の「デバイスビジネスユニット事業」を「デバイス事業」に、従来の「ソリューションビジネスユニット事業」を「ソリューション事業」としております。各事業セグメントが行う事業内容に変更はありませんが、持株会社化に伴い報告セグメントの利益の算定方法を変更しており、セグメント利益の前年同四半期の数値の組み替えができないため、前年同四半期比増減は記載していません。

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、電子制御が進む自動車向けシステムLSIなどの半導体や電子部品の販売及び技術支援、組込システムのPOC（概念実証）開発支援や受託開発事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ワールドワイドでの自動車生産台数が堅調に推移したことや、先進運転支援システム搭載車両の需要が拡大した結果、デバイス事業の売上高は、226億99百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は6億71百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、IT機器、計測機器及び組込機器の販売からITプラットフォーム基盤構築及びIoTシステムの提案に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、好調な企業収益を背景にした主要顧客企業の設備投資需要や情報化投資需要を的確に捉えるとともに、IoT領域など新規分野への継続的な提案活動を実施した結果、ソリューション事業の売上高は、43億円（前年同四半期比19.7%増）、営業利益は1億11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて8億98百万円減少し567億90百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億92百万円減少し517億68百万円となりました。これは主に、商品及び製品が16億31百万円及び電子記録債権が7億20百万円増加したものの、現金及び預金が2億95百万円及び受取手形及び売掛金が32億67百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億94百万円増加し50億22百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて15億29百万円減少し272億79百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14億33百万円減少し231億2百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が4億31百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が11億41百万円及び未払法人税等が2億2百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて95百万円減少し41億76百万円となりました。これは主に、長期借入金が75百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億30百万円増加し295億11百万円となりました。

この結果、自己資本比率は51.9%（前連結会計年度末は50.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年度3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,610 | 6,314 |
| 受取手形及び売掛金 | 30,557 | 27,290 |
| 電子記録債権 | 1,594 | 2,315 |
| 商品及び製品 | 12,860 | 14,491 |
| 仕掛品 | 341 | 513 |
| 原材料及び貯蔵品 | 276 | 245 |
| その他 | 622 | 600 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 流動資産合計 | 52,860 | 51,768 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,629 | 2,643 |
| 無形固定資産 | 108 | 116 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,090 | 2,263 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 2,089 | 2,262 |
| 固定資産合計 | 4,828 | 5,022 |
| 資産合計 | 57,688 | 56,790 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,585 | 10,443 |
| 電子記録債務 | 2,914 | 2,897 |
| 短期借入金 | 6,582 | 6,488 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 918 | 1,350 |
| 未払法人税等 | 526 | 323 |
| 受注損失引当金 | 11 | — |
| その他 | 1,997 | 1,599 |
| 流動負債合計 | 24,536 | 23,102 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,925 | 3,850 |
| 退職給付に係る負債 | 119 | 100 |
| その他 | 227 | 225 |
| 固定負債合計 | 4,272 | 4,176 |
| 負債合計 | 28,808 | 27,279 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,916 | 4,263 |
| 資本剰余金 | 4,407 | 4,755 |
| 利益剰余金 | 20,378 | 20,449 |
| 自己株式 | △354 | △354 |
| 株主資本合計 | 28,347 | 29,114 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 388 | 340 |
| 為替換算調整勘定 | 239 | 133 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △98 | △95 |
| その他の包括利益累計額合計 | 528 | 378 |
| 新株予約権 | 3 | 0 |
| 非支配株主持分 | — | 17 |
| 純資産合計 | 28,880 | 29,511 |
| 負債純資産合計 | 57,688 | 56,790 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 24,778 | 27,000 |
| 売上原価 | 22,409 | 24,310 |
| 売上総利益 | 2,369 | 2,689 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,677 | 1,906 |
| 営業利益 | 691 | 783 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 6 | 8 |
| 為替差益 | 1 | 16 |
| 保険解約返戻金 | 30 | 0 |
| その他 | 6 | 9 |
| 営業外収益合計 | 45 | 35 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 9 |
| 売上債権売却損 | 11 | 9 |
| その他 | 1 | 3 |
| 営業外費用合計 | 21 | 22 |
| 経常利益 | 715 | 796 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 1 | 1 |
| 投資有価証券評価損 | — | 0 |
| 特別損失合計 | 1 | 1 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 713 | 795 |
| 法人税等 | 239 | 253 |
| 四半期純利益 | 474 | 541 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | 2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 474 | 539 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 474 | 541 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41 | △47 |
| 為替換算調整勘定 | △32 | △106 |
| 退職給付に係る調整額 | 2 | 3 |
| その他の包括利益合計 | 11 | △150 |
| 四半期包括利益 | 485 | 391 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 485 | 388 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | 2 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した萩原北都テクノ株式会社を連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当しません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------------|---------------------------|--------|--------------|----------------------------|
| | デバイスビジネス ユニット事業 | ソリューション ビジネス ユニット事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,184 | 3,593 | 24,778 | — | 24,778 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 23 | 7 | 30 | △30 | — |
| 計 | 21,208 | 3,600 | 24,809 | △30 | 24,778 |
| セグメント利益 | 969 | 105 | 1,075 | △383 | 691 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△383百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|---------|---------------|--------|-----|--------------------------|
| | デバイス事業 | ソリューション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,699 | 4,300 | 27,000 | — | 27,000 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 26 | 64 | 91 | △91 | — |
| 計 | 22,726 | 4,365 | 27,091 | △91 | 27,000 |
| セグメント利益 | 671 | 111 | 783 | — | 783 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社グループが持株会社体制へ移行したことにより、セグメント利益の算定方法を変更しております。これに伴い当社(持株会社)に係る全社費用及び収益を、各セグメントに配賦しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、全社費用に対する収益が存在せず当該変更後の算定方法による算出ができないことから、変更前の算定方法に基づき開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。